

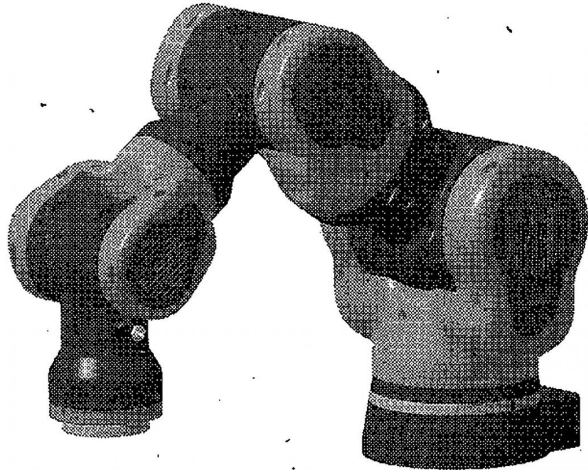
自動化やDX推進を支援

豆蔵・コーワメックス 名古屋ロボデックス共同出展

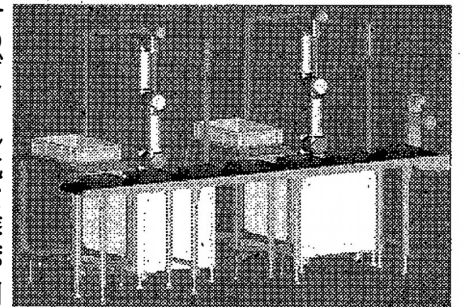
デジタルシフト・サービスを手掛ける豆蔵デジタルホールディングス(本社東京都新宿区)傘下の事業会社、豆蔵(同)とコーワメックス(本社名古屋市中区)は、10月26〜28日に名古屋市港区のポートメッセなごで開催される「第5回名古屋ロボデックス」に共同出展する。両社の強みとするソフトウエア、メカ、エレキのトータルなロボットなど製造業向けのシステム設計・開発を生かし、食品や板金加工工業などの人手不足解消や自動化などDX(デジタルトランスフォーメーション)推進を支援する。

豆蔵は、3Dカメラによる推定し、カメラのみでロボットの追従動作を実現。通常のロボットがコンベアの盛り付けをする場での活用に合わせて紹介付けロボットシステムのデモ機を展示する。

同技術は、コンベアを流れる物の画像処理で速度をトを並べ、それぞれ決められたGV(無人搬送車)などに要した。



協働ロボット「ビーナス2」



ビジュアルコンベアトラッキング技術を用いた食品盛り付けロボットシステム(イメージ)

.....

現場に配置した際のズレを認識でき、手戻り工数を削減し、スペースや安全の確保など最適な配置検討の効率化が図れる。視点の共有により、遠隔地からの確認もできる。

豆蔵は軽さと柔らかさを表現した7軸協働ロボット「ビーナス2」も出展する。

可搬重量の増加、柔らかく素早い動作を高めた。人の手で直感的なロボット動作が楽にできるダイレクタペーパーリングを披露する。

人と同じ空間で作業を行える協働ロボットは食品や物流・倉庫、製造、中小企業などの省人化、自動化ニーズで需要が高まっている。

カスタムロボットを求めユーザー向けに中空構造による省配線などで小型化、高い運動性能を実現するモーターユニット開発も展開。ロボットメーカー向けも含め、短期間で高品質なロボットシステム開発支援・コンサルティングや、工場での最適なロボット導入、自動化システムを提供する。

また、板金加工業向けに見積作成から受注、工程進捗(しんちよく)、ドキュメント管理、経営 داشقボード、設備点検まで業務の見える化、一元管理を実現できるクラウドデジタルオープンプラットフォーム「ファンデックス」を初出品する。

見積もり作成では過去の作業の標準化が可能になる。顧客のニーズや課題に合わせ必要なアプリケーションを組み合わせて簡単に利用できる。年内に販売開始する予定。

従来から展開するレーザー溶接ロボットシステム用にワーク溶接位置のズレをカメラで検出して自動補正するオプション機能も新設する。

食品盛り付けロボ展示

MRで工場の配置検討

別の作業場に移設させることも容易になり、食品工場では部品の異物混入リスクも低減できる。

加えて、コーワメックスが実空間に仮想の映像を重ね映す複合現実(MR)を活用した工場レイアウト検

ソフトの「ホロレンズ」を用い、開発したパソコンアプリの画面上に機器を配置すると、ゴーグル越しに実際の現場にバーチャルの機器を投影。バーチャル機器は指の操作で移動可能で、現物の周辺機器や壁などに

ロボットアームのフレーム樹脂化で金属製に比べ重量を最大半分に軽減。モーター電流値で外力を高精度に検出してトルクセンサーを不要にした高バックドライバリティ(逆駆動性)減速機も採用し、安全性と

「両社の連携で、顧客のビジネス、経営を高める新サビスの提供を進めたい」と強調。コーワメックスの宮田賢治社長は「展示会で多くの方のご意見、ニーズをお聞きし、サービスに近づきたい」としている。

首都圏情報 FRONT TOKYO